

湯梨浜中学校だより

『礼輪笑活(れいわしょうかつ)』

湯梨浜町立湯梨浜中学校

校長 梅津 寿文
令和元年6月3日

【「わかる工夫・できる努力」していますか？】

6月に入りました。すでに気持ちを県総体予選や今後のコンクールや作品展等に切り替えている人も多いと思いますが、さっそく中間テストの結果が返ってきている教科もあるでしょう。1年生にとっては初めての定期テストで、思ったように取り組めなかった人も多かったと思います。

この一学期の中間テストを振り返ってみることは、今後の学習の進め方に大きく影響をしていきます。「テスト対策」・「家庭学習や授業の取り組み」・「ノートのとり方や提出物」など、自分で振り返って今後の具体的な取り組み方を考えていってほしいと思います。

『まさか！未だに授業中に机に伏せたり寝ている人はいませんね？』『まさか！そのような人を見逃していたり、許しているような学級や班はありませんね。』まずは、自分で予習や復習をしっかりと登校することからです。

すぐに先生方や仲間頼りに頼ってしまったり、「わからん！でせん！」と投げ出す前に、自分で「わかる工夫・できる努力」を続けることが『湯梨浜中学校の当たり前』です。

ただ、生徒の皆さんにだけ「頑張れ！しっかりやろう！」と言っているのではなく、先生方も授業研究会を繰り返しながら、生徒が「より自主的に・より分かりやすい」ように研究を進めておられます。例えば「説明方法」、「班での話し合いや関わり方」、「学校にきて学んで良かったと思える授業づくり」等々、一時間一時間の授業を大切に改善していかれます。

生徒の皆さんも、特に『協同学習（自分の学びが仲間の役に立ち、仲間の学びが自分の役に立つ）』について、ともに学んでいくことの大切さを意識して取り組んでください。

また、発表の語尾には「・・・です。」「・・・だと思ひます」をつけることや「敬語」がきちんとつかえるように意識してください。高校入試直前になって短期間では身につけません。



【試合の後に何が残りますか？】

先週の5月23日（木）の部活動参観日には多くの保護者の方々に参観していただき、ありがとうございました。いよいよ県総体予選会が今週末の開催となり、各部の対戦相手や会場は5月29日に配布された案内のとおりで、各会場で熱戦が繰り広げられます。

全国大会までつながっている中体連公式の大切な大会です。試合に参加する以上、優勝をめざして「勝つこと」に集中し、その喜びをたくさん味わってほしいと思います。

しかし、相手のあることですから思うような結果にならないこともあるでしょう。特に「勝つことだけにこだわってきた」選手にとっては負けた時点で「何も残らなかった」と感じたり、敗因を他の人や物のせいにして寂しい気持ちのまま引退していくのでしょうか。ところが、「+α」をきちんと身につけてきた選手たちは負けても悔いが残らないのではないかと思います。「礼儀やマナーがよい・挨拶がすばらしい・大きな声でプレーや応援ができる・チームの雰囲気がとても温かい」等々、これらはこれからの長い人生の中で、社会生活や人間関係を良好にしておくための大切な力となります。そして、「文化的活動やスポーツの特性」を忘れることなく、他校や相手チームの良いところも学んでこれから活かしてほしいと思います。高校でともに生活したり、チームメイトになる仲間と出会うことになることもあると思います。対戦相手を尊重してお互いに全力を出し合い、粘り強く最後まで精一杯力を出し切ってきてください。

運動部に限らず、文化部でも同じことが言えますが、学校で部活動に取り組んでいる意義がこれらにあると思います。

【自分の身は自分で守る！】

5月27日（月）、「地震の発生」を想定しての避難訓練を行いました。「自助・共助」という言葉があるとおり、まずは「自分自身の命を自分で守る」ことを十分に意識しておいてください。状況によっては周囲に誰もいない中で、自分一人で判断し、行動しなければならないこともあります。そして、周囲に助けを必要とされる方があった時は、最初に「自分に被害がないこと」を確認して、周囲の大人への支援要請、救助用具等を活用して手助けができることもあることを頭の中にしっかりと入れておいてほしいと思います。判断を間違ったり、無理をして自分が被害に巻き込まれてしまうことのないようにしてください。テレビや新聞等では「溺れた人を助けた・電車の線路に落ちた人を救った」等々の話もある中で、二重事故（助けようとした人が被害を受けること）も少なくありません。

これから生きていく中で、何事もなく過ごせればよいのですが、不審者対応に限らず、自然災害や交通事故等々さまざまな危険から自分で自分の身を守る力（判断力・知識）を、ぜひとも身につけてください。